横浜天声キリスト教会　週報　第16巻30号（No.598）　2021年7月25日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　エペソ1:17-19 ・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175番　み霊よわれ歌う時
礼拝のための祈り ・・・・・・・ 成田エクレシア：河執事　天声：小林伝道師
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 401番　み国へとめざす聖徒
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・ 大成功した時こそ最も気を引き締めるべき時(ヨシュア記 7:1-9)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 402番　主が「進めよ」と
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

どうか、____主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊を____に賜わって神を認めさせ、____の心の目を明らかにして下さるように、そして、____が神に召されていだいている望みがどんなものであるか、____がつぐべき神の国がいかに栄光に富んだものであるか、また、神の力強い活動によって働く力が、わたしたち信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、____が知るに至るように、と祈っている。（エペソ1:17−19）

____は、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。____の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。____はさまざまな議論を破り、神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、そして、____が完全に服従した時、すべて不従順な者を処罰しようと、用意しているのである。（2コリント10:3−6）

もし____が卑しいものを取り去って自分をきよめるなら、____は尊いきよめられた器となって、主人に役立つものとなり、すべての良いわざに間に合うようになる。（2テモテ2:21）

メッセージ概要

新しい祝福の領域へと入って行く書・ヨシュア記から養いを受けている。祝福の深みへと入っていく際に大事な事は、ただ主のことばだけに信頼し、歩み続ける事だった。前回のエリコでの大勝利の秘訣は、主が定められた時まで、口を閉じ、ただ主の御言葉に従ったからだった。しかし人は、ひと度大勝利すると、「自分達は特別だ」「自分には力がある」という思いが膨張し、主の言葉に従う事や、自分の考えを捨てる事を、おろそかにし、それらの勝利の秘訣を投げやってしまう傾向がある。今回の7章が、まさにそうだ。今回学ぶべきは、大勝利した時、その時こそ努めてその傾向に陥らないよう気をつけるべき、という事だ。

主の民は、確かに「特別」であり、主に従うなら、大勝利もするだろう。しかし、大勝利して得たものの中には、自分のものにしてはならないもの、ただ主に捧げ尽くすべきものがある。ヨシュアはそれを取ってはならないと予め告げていたのに、ユダ族のアカンは、その幾つかを取って、自分の天幕の中に入れてしまった。

神の国の戦いは、個人的利益を得るための略奪戦争ではないし、自分たちがお金持ちになるための戦いでもない。主の忌み嫌われるサタン的な制度を打ち破り、救うべき囚われの魂たちを救う戦いである。それなのに、何かを得たとたん、目の色を変え、我がものとして独占する人は、敵の前に立てなくなってしまう。

聖絶すべきものを取り入れたのは、アカン一人だったが、イスラエル陣営全体が、聖絶の対象となってしまった。その状態になってしまっている以上、敵がどんなに弱く少なくても、勝てなくなってしまった。

イスラエルの民は、自分達が”負けモード”になってしまった事に気づかないまま、主に伺う事をせず、次の戦いに出てしまう。もし主に伺っていたら、何かの形で警告があったはずなのに、ヨシュアは伺う事をしないまま、斥候に情報を収集させた。エリコ攻略の時、斥候達がもたらした報告は、正しい霊的見解だったが(2:24)、今回、アイを偵察した斥候達は、自分達が特別であると思って大盤振る舞いな提言をした(3節)。

アイの住人は、約一万二千人だが、全員を出すまでもなく、二，三千人出せば十分だろう、と勧めたのだ。彼らはエリコの勝利で慢心し、この程度で大丈夫だろう、と思っていたのだろう。神の民は確かに「特別」ではあるが、主の言葉に従う、という条件つきである。従わないなら、主の特別待遇は、去ってしまうのだ。

彼らは提案どおり、三千人ほどで攻め上ったが、敗走し、おおよそ三十六人が犠牲となった（4-5節）。およそ百人の内、一人が戦死する…。戦争の被害としては、少なく見えるかもしれないが、この敗北の意味は、とてつもなく大きい。この敗北について、強く雄々しいはずのヨシュアが、なんと「弱音」を吐いている。自分達はヨルダンを渡らなければ良かった、カナン人は自分らを断ち去ってしまうだろう、主よ、なぜそのように仕向けたのですか、と(ヨシュア記7:7-9)。犠牲者三十六人は出たが、イスラエルはまだ六十万以上残っているのに。ヨシュアの嘆き様は、大げさに見えるだろうか？いや、一度の敗北で三十六人の犠牲者が出た事を、深刻に受け止め、悔い改めの集会をさせたヨシュアの真理を見る目は、さすがと言うべきだ。

主が共におられる戦いに、負けは、無い。なのに負けてしまった、という事は、主は今、共におられず、自分達はただ滅びるしかない、という事である。ヨシュアはそこまで見抜いたため、そこまでうろたえたのだ。

知恵と識別の霊が無い、霊において曇った指導者は、「こちらの被害はまだ少ない」と言って、兵員を増加し、いたずらに敗北と犠牲者を増やしていた事だろう。そういう人は、自分が「呪われモード」にある事を一切関知せず、行ってはならない方面に多くの兵力や資産をつぎ込んで、多大な損害を出してしまうのだ。

もしヨシュアがこの時、主に伺わず、御声に聞き従わないままだったら、いかに十万、二十万を投入ても、負けは、確定していたのだ。私達も、何かおかしい、と、霊的に気づいた時、ヨシュアのように、自分の心を裂き、自らを低くして、主の前に、何が不備だったのかを点検すべきである。特に大成功を収めた時や、大勝利した時こそ、ますます努めて、主を恐れ敬い、主に聞く態度を、ますます持つべきなのだ。

私達の戦いは、自分が富むための戦いではなく、囚われの魂を救い、支配権を獲得して行く戦いである。そこに、自分の利益を得ようという浅ましい考えがあってはならない。特に、私達にはありえない程の大勝利・大成功を収めた時が、真の勝負どころである。その時こそ、自分の力に頼る事をますます捨て、ますます主のことばに聞き従う事において、磨きをかけるべきである。ヨシュアのように、物事の真理を見極める知恵と啓示の霊が与えられ、どんなに小さな事も見抜き、勝利をキープし続ける皆さんでありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00

食事/フェローシップ　12:30～

English Service　14:00～

※月に一度、成田出張礼拝のためお休みします。
詳しくはお問い合わせ下さい。

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～

火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～

火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～

2 部　19:30～

金曜祈祷会　19:30～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 16 巻 30 号　2021 年 7 月 25 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube